

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分」)

静岡県立浜松北高等学校

静岡県浜松市中央区広沢一丁目30番1号

電話 (053)454-5548

FAX (053)456-3316

# 目 次

1. 事務事業の概要	1
2. 事務執行の根拠法令調	25
3. 学校施設の概要	26
4. 在籍生徒調	28
5. 入学志願者及び入学者数調	30
6. 卒業生の動向調	32
7. 生徒の状況	34
8. 授業料収納状況調	36
9. 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	44
10. 預金調	45
11. 郵便等受払調	45
12. 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	46
13. 委託料に関する調	47
14. 補助金支出調	50
15. 負担金支出調	52
16. 建築工事調	55
17. 公有財産調	59
18. 借地借家等調	60
19. 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	61
20. 行政財産貸付・使用許可調	63
21. 主要備品調	64
22. 職員調	65
23. 職員の年齢調	68
24. 健康管理	69

# 事務事業の概要

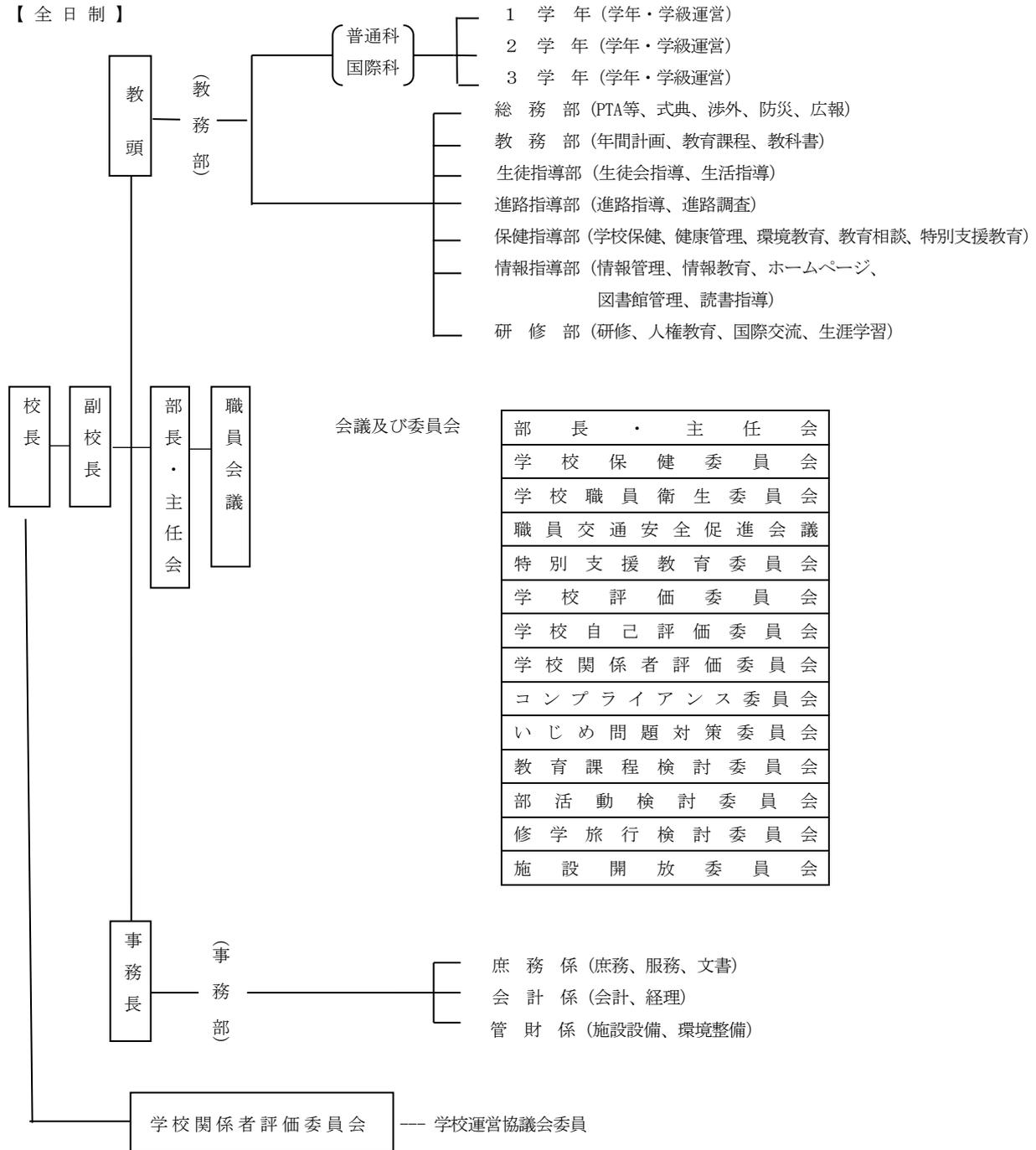
## 1 概況

### (1) 学校の沿革（全・定共通）

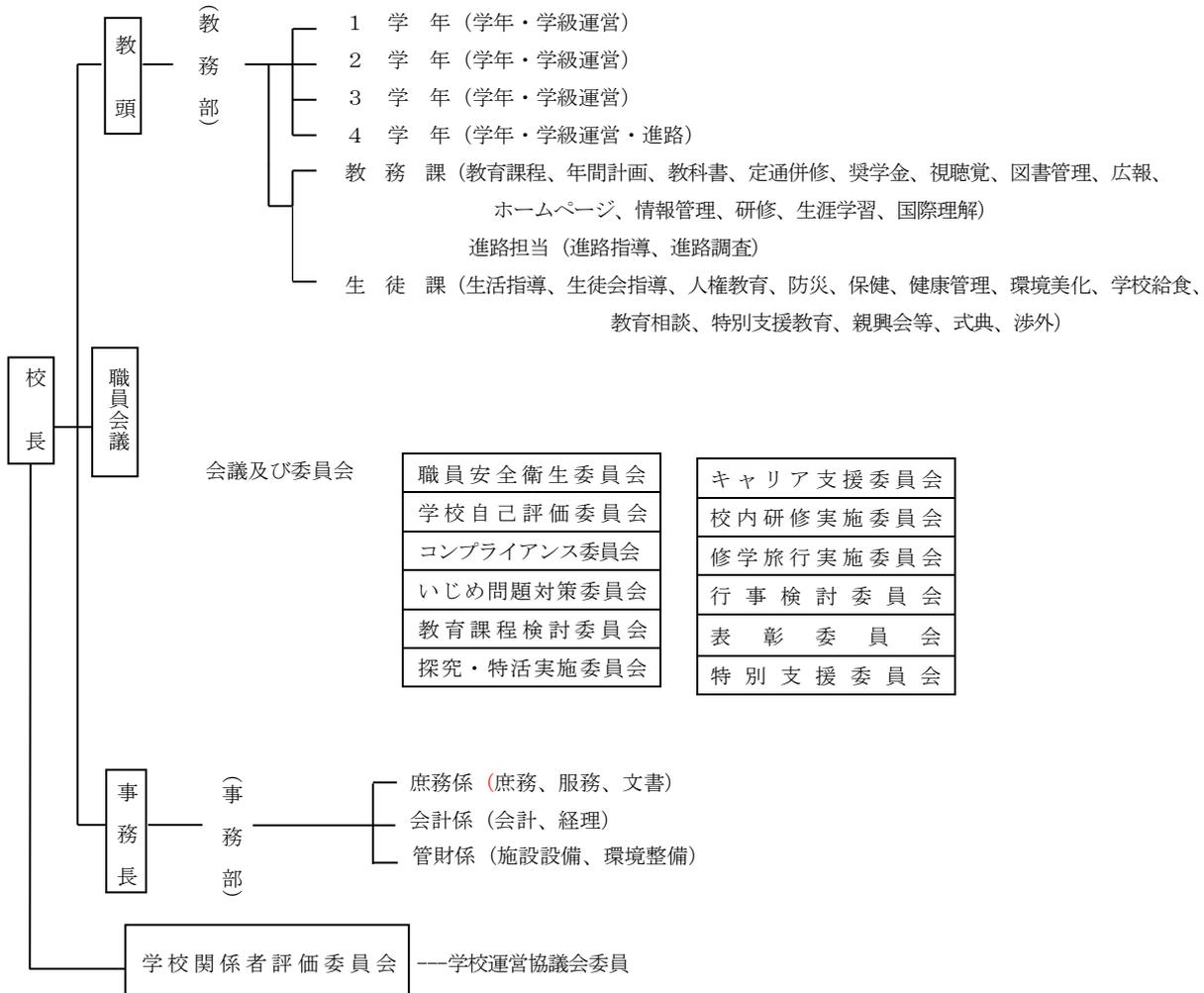
- 明治 27 年 4 月 17 日 敷知・浜名・長上 3 郡、浜松町組合立として現在の浜松市元城町に設立、静岡県尋常中学校浜松分校と称する。
- 明治 28 年 4 月 1 日 静岡県浜松尋常中学校と称し独立中学校として設置
- 明治 31 年 4 月 1 日 静岡県に移管、定員 500 人となる。現在地に移転
- 明治 32 年 4 月 1 日 静岡県浜松中学校と改称
- 明治 34 年 4 月 26 日 静岡県立浜松中学校と改称
- 明治 36 年 4 月 1 日 生徒定員 600 人となる。
- 大正 5 年 4 月 1 日 生徒定員 650 人となる。
- 大正 8 年 4 月 1 日 生徒定員 800 人となる。
- 大正 13 年 4 月 1 日 静岡県立浜松第一中学校と改称、生徒定員 1,000 人となる。
- 昭和 16 年 4 月 1 日 生徒定員 1,250 人となる。
- 昭和 22 年 4 月 1 日 昭和 23 年から新制高等学校に移行のため 1 年生の募集を停止、生徒定員 1,000 人となる。
- 昭和 23 年 3 月 25 日 通信教育制を実施
- 昭和 23 年 4 月 1 日 静岡県立浜松第一高等学校と改称し、新制中学 3 年を併設
- 昭和 23 年 9 月 22 日 定時制課程（夜間）を併設
- 昭和 24 年 4 月 1 日 静岡県立浜松北高等学校と改称、生徒定員 850 人となる。
- 昭和 25 年 4 月 1 日 全日制 18 学級（定員 900 人）、定時制 8 学級（定員 320 人）普通科男女共学となる。
- 昭和 34 年 4 月 1 日 全日制 1 年 7 学級（定員 350 人）となる。
- 昭和 36 年 3 月 31 日 通信教育実施校の指定を解除
- 昭和 38 年 4 月 1 日 全日制 1 年 9 学級（定員 450 人）となる。
- 昭和 46 年 2 月 16 日 新体育館竣工
- 昭和 46 年 4 月 1 日 全日制 1 年 9 学級（定員 405 人）となる。
- 昭和 62 年 4 月 1 日 生徒急増対策として、全日制 1 年 10 学級（定員 450 人）となる。
- 平成元年 11 月 10 日 新校舎落成
- 平成 3 年 4 月 1 日 国際科 1 学級（定員 40 人）を設置、普通科 9 学級（定員 405 人）となる。
- 平成 5 年 4 月 1 日 全日制普通科 1 年 9 学級（定員 387 人）となる。  
定時制 1 年 1 学級（定員 40 人）となる。
- 平成 6 年 4 月 1 日 全日制普通科 1 年 9 学級（定員 378 人）となる。
- 平成 6 年 10 月 15 日 創立百周年記念式典挙行
- 平成 7 年 4 月 1 日 全日制普通科 1 年 9 学級（定員 369 人）となる。
- 平成 8 年 4 月 1 日 全日制普通科 1 年 9 学級（定員 360 人）となる。
- 平成 10 年 11 月 1 日 定時制通信制教育 50 周年記念式典挙行
- 平成 12 年 11 月 4 日 国際科 10 周年記念式典挙行
- 平成 16 年 2 月 13 日 国際科校外学修（ニュージーランド）開始
- 令和 3 年 4 月 1 日 全日制普通科 1 年 8 学級（定員 320 人）となる。
- 令和 6 年 11 月 14 日 創立 130 周年記念式典挙行

(2) 組織図

【全日制】



【定時制】



## 2 目指す学校像

### 【全日制】

#### <スクール・ミッション>

「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>次の資質・能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊かな人間性(知性・感性)</li> <li>② 幅広い教養</li> <li>③ 国際感覚</li> <li>④ 規範意識とマナー</li> <li>⑤ 人権尊重の精神</li> <li>⑥ 高い自己管理能力</li> <li>⑦ 社会性・公共性</li> <li>⑧ 発想力や創造力</li> <li>⑨ 企画・調整力</li> <li>⑩ リーダー性と協調性</li> </ul>	<p>左記の資質・能力を育成するため、次の教育活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学問と知性を愛する豊かなこころを基盤として、心身の調和的発達を図り、人類の発展に貢献できる人間を育成する。</li> <li>② 授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等、全教育活動を通して、個々の資質・能力を磨く。</li> <li>③ 県教育委員会の事業等も最大限に活用しつつ、科学の甲子園、模擬裁判選手権、海外短期留学等に積極的に挑戦できる環境を整える。</li> </ul>	<p>左記の教育活動を行うため、次の生徒を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 夢や志の実現に向け、向学心と向上心を持って粘り強く努力できる生徒</li> <li>② 学習のみならず学校行事、部活動及び生徒会活動等に積極的に取り組むことができる生徒</li> <li>③ 校外の活動（科学の甲子園、模擬裁判選手権、医療人材育成に向けたプログラム等）や海外短期留学等に積極的に参加し、自己の可能性を高めることができる生徒</li> </ul>

【定時制】

<スクール・ミッション>

多様な生徒が、互いを理解し共に学ぶ定時制高校として、地域連携による探究・体験学習を通して、広く社会に貢献できる人材の育成を目指す。

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
次の資質・能力を育成する ① 社会生活の基盤となる基本的な学力 ② 多様性を認め、お互いを尊重し合う力 ③ 自分らしい生き方を主体的に選択できる力	次の教育活動を行う ① 学びの楽しさを実感し、より深い学びへの意欲を高める。 ② 個と集団の関係性や集団活動の意義を理解し、協働の精神を育む。 ③ 望ましい勤労観や職業観を身に付け、社会的・職業的な自立に向け、自分らしい生き方を探求する力を培う。	次の生徒を受け入れる ① 基礎学力の定着及び基本的生活習慣の確立を目指し、目標を持って粘り強く努力できる生徒 ② 学習のみならず学校行事、部活動及び生徒会活動等に積極的に取り組むことができる生徒 ③ 「校内活動におけるキャリア教育」や「アルバイト等の校外活動」に積極的に関わり、自己のキャリア発達を促すことができる生徒

### 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

#### (1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

##### 【全日制】

##### <スクール・ポリシー具現化の柱>

- ア 基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成
- イ 確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実
- ウ 高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実
- エ 規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞しい人材」を育成するための教育活動の提供
- オ 家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進
- カ 安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実
- キ コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進

#### (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<b>基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成</b>	・「日ごろから気持ちの良い挨拶ができています」と答える生徒が90%以上。	87.0%	B	・「北高生は挨拶ができています」「北高生は挨拶をしない」と両方の評価をいただいている。挨拶は自分からという意識が持てるよう引き続き指導する。 ・自主独立に繋がるよう生徒の意識改革を促す指導が必要。
		・「清潔で端正な服装をするよう心がけている」と答える生徒が90%以上。	96.6%		・清潔で端正な服装が周囲の人々にどう受け取られるかを考えられるような指導をする。
		・「日々の清掃に真剣に取り組むなど、生活環境の整備に努めている」と答える生徒が90%以上。	94.3%		・清掃については、真面目に取り組んでいる。
		・「授業の開始や集合時間等、時間を守ることができている」と答える生徒90%以上	97.6%		・ノーチャイムが生徒自身で時間管理を行う習慣に繋がっている。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行年 10 回 5/8, 6/5, 7/3, 9/18 10/15, 11/13, 12/6 1/21, 2/19 の 9 回発行</li> <li>・相談室だよりの発行年 3 回 4/5, 6/7, 9/4, 11/1, 2/6 の 5 回発行</li> <li>・個人面談の実施 年 3 回以上 二者面談面接週間 4/15～4/19、必要に応じて随時 三者面談 7 月下旬</li> <li>・「頼れる教員がいる」と答える生徒が 80% 以上。 89.3% 「特別支援教育」講演会を開催し、高校における合理的配慮の実例と考え方について学んだ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 回のペースで、生徒が中心となって発行している。</li> <li>・引き続き、年 3 回の発行を目標とする。</li> <li>・心理テストの導入</li> <li>・面談は、引き続き、年 3 回以上を目標とする。</li> <li>・生徒との信頼関係を大切にする。</li> <li>・引き続き特別支援教育のスキルアップを進める。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が 90% 以上。 88.9%</li> <li>・「学校行事に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が 90% 以上。 94.6%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2、3 年生が自由化入となったが、各部の目標に応じた活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・暑さ・感染症と闘いながら、3 大行事を満喫した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館だより「Book Cover」の発行 年 6 回 6/10, 7/19, 9/26 11/7, 12/20, 1/10 の 6 回発行</li> <li>・読書感想文コンクール参加率 100% 97.0%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒と教員が協力して、発行している。</li> <li>・芸術関連図書の実</li> <li>・コンクールの参加方式について検討している。</li> </ul>

イ	確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実	・「学力が向上する授業が行われている」と答える生徒が 90%以上。	89.9%	B	・生徒の学力向上を目標とし、授業改善や指導法の研究に取り組む。
		・「勉学に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が 90%以上。	90.4%		・生徒の知的好奇心が刺激されるような授業を目指し、教材研究に取り組む。
		・「課題、小テストの量は適切である」と答える生徒が 85%以上。	84.8%		・家庭学習の充実や学力向上につながる課題・小テストのあり方について検討する必要がある。
		・家庭学習時間の平均 平日 150 分以上	133.7 分 (1, 2 年生、6 月、10 月調査)		
		・授業見学週間の実施 年 2 回	・4/22~4/26, 10/21~11/1 に実施。		・来年度も実施する。
		・教育課程検討委員会の開催 年 2 回以上	・10/16, 12/5, 12/16 に開催。定期テストの在り方について検討した。		・来年度も実施する。 ・新課程 3 年目が終わったので、検討が必要。
ウ	高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実	・「将来に対する夢や目標を持っている」と答える生徒が 80%以上。	82.9%		・引き続き、進路意識を高める取組を計画する。
		・「志や進路目標の実現に向けて自主的に取り組む姿勢を育てている」と答える生徒が 85%以上。	90.3%		・進路だよりや各種ガイダンスを引き続き実施し、生徒の自主的に取り組む姿勢を高める。
		・進路指導に関する研修会の開催 年 4 回以上	4/10, 6/6, 12/6, 1/23 に開催。		・進路指導部により、充実した研修が行えている。今後も更なる充実を目指す。 ・模試の徹底活用
		・「進路指導が適切に行われている」と答える生徒が 85%以上。	90.3%		・引き続き生徒の希望を満たす指導を行う。

エ	規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞しい人材」を育成するための教育活動の提供	・「学校行事はこれから求められることとなる力を育てるものとなっている」と答える生徒が90%以上。	95.7%	B	・3大行事は本校の伝統的行事として重要な教育活動であるが、気候の変化等に合わせた持続可能な実施を生徒と共に検討する。
		・「科学の甲子園」「模擬裁判」「スピーチコンテスト」等の大会などに参加する生徒 延べ100人以上	科学の甲子園24名、英語スピーチコンテスト 2名、模擬裁判17名、模擬国連2名等が部活動以外で外部大会等へ参加		・今後も蜻蛉部として部活動以外の様々な活動を支援していく。
		・校外学修及びオクトーバープロジェクトの満足度90%以上	89.1%		・さらなる内容の充実を図る。 ・1年生国内プログラムの内容検討。
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進	・PTA総会の保護者参加率 60%以上	41.4% (委任状提出者44.8%)	B	・平日開催であるが参加を呼び掛けていく。
		・「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者が85%以上。	87.7%		・絆メールの積極的活用を進める。合わせてペーパーレス化を進める。
		・一日体験入学の参加中学生 700人以上	・参加中学生 770名		・Google Formの利用で直接申し込みが可能となった。例年どおり盛況であった。会場、開催方法を含めた検討が必要。
		・「地域の行事や奉仕活動、社会貢献活動等に参加するなどして、地域社会に貢献しようとしている」と答える生徒が60%以上。	51.7%		・生徒一人一人が忙しい生活を送っていることに加え、通学に時間を要する生徒も多い状況で、地域での活動は、気持ちがあっても難しい状況にある。
・学校運営協議会制度への移行 ・協議会の開催 年3回	・学校運営協議会への移行完了 ・7/3, 11/2, 2/12の3回開催	・学校運営協議会へのスムーズな移行を完了した。			
カ	安全・安心な学校づくりにつながる学習	・いじめや体罰等に関する指導案件なし	なし	B	・生徒と教員の良好な人間関係をつくり、安心・安全な学校づくりを推進している。

環境の整備・ 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭指導等の実施 年2回</li> <li>・交通事故件数 前年比減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・/15, 5/7, 6/18, 9/5 1/9 の5回実施</li> <li>・年間件数で前年比約67%減(R5:27件、R6:9件) 1/10 現在</li> <li>・不注意による交通事故が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通マナーの徹底を目標に予定以上の指導を行っている。</li> <li>・ヘルメット着用率を上げる指導を行う。</li> <li>・事故件数は大幅減となっている。街頭指導等の交通指導を継続する。</li> <li>・余裕を持った登下校が必要。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施 年2回</li> <li>・「健康や安全等に関する指導が適切に行われている」と答える保護者が90%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/17</li> <li>89.7%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練としては、1回の実施に留まったが、総務部では、工夫を凝らした防災学習をLHR等で実施している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AED講習会や熱中症予防講座の実施</li> <li>・「教育環境の整備が適切に行われている」と答える保護者が80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エピペン講習会 5/14</li> <li>熱中症予防講座 7/4</li> <li>AED講習会 11/27</li> <li>・保健委員会で「スマホ」との付き合い方について研究及び発表。</li> <li>79.4%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導部により充実した研修を行うことができた。次年度以降も引き続き実施する。</li> <li>・施設・設備の老朽化が見られることは承知している。急を要するところは、その都度対応する。</li> </ul>
キ コンプライアンスの徹底と 学校における働き方改革の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の不祥事なし</li> <li>・監査における指摘事項なし</li> </ul>	なし（2月末時点） 指摘事項なし	B <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務室内の良好かつ許容的雰囲気醸成し、各自が責任感を持って業務遂行に努める。</li> <li>・節約とさらなる計画的執行に努める。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外在校等時間の前年比減</li> <li>・夏季休暇取得率 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間平均で前年比約9%減（R5:480時間→R6:437時間）</li> <li>86.7%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務削減と業務の効率化を推進し、早く帰宅できる環境づくりに努める。</li> <li>・夏季休暇の積極的取得の呼びかけを行う。</li> </ul>

【定時制】

＜スクール・ポリシー目標具現化の柱＞

- ア 授業改善に取り組み、基礎学力の確実な定着と探究活動の充実を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- イ 集団活動や体験活動等を通して自己肯定感を高め、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、社会人として必要な知識や教養を身に付けさせる。
- ウ 望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるとともに、課題に直面したときに主体的な判断の下に行動できる力を養い、将来設計に基づいた自己決定ができる能力の育成を図る。
- エ 教員間で生徒情報を共有・共通理解を図り、指導・相談体制を充実させることで、生徒との信頼関係を築き、安全で安心して活動できる学習環境を整える。
- オ 地域と連携し、保護者の信頼に応えることができる学校づくりをする。
- カ 計画的かつ組織的に業務を遂行し、定時退勤、休暇取得を推進する。

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(1)	<b>基礎学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力の育成を図るため、継続して授業改善に取り組むとともに、探究活動の充実を図る。</b>	「授業を通して基礎学力が身に付いた」と思う生徒が 95%以上	授業を通して基礎学力が身に付いた 生徒 98% 先生は分かり易く教えてくれる 生徒 100%	A	研修会や授業参観を通して授業改善の意識し授業に取り組むことができた。今後も、個別最適を意識して授業改善に取り組んでいく。
		「先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている」と感じる生徒が 95%以上	先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている 生徒 96%	A	個の習熟度を把握する個別指導や声掛けを充実させ、きめ細かな対応を継続する。
		計画的に粘り強く学習に取り組んだ生徒が 90%以上	計画的に粘り強く学習に取り組んでいる 生徒 75%	B	学ぶことの楽しさ、大切さを授業や探究学習を通じて指導していく。
		自ら課題意識を持って取り組んだ生徒が 60%以上	課題意識を持って学習に取り組んでいる 生徒 83%	A	自己を見つめ直し、苦手なことにも挑戦する意欲を育成していく。
		図書館や情報機器等を利用して、意欲的に学習活動に取り組んだ生徒が 80%以上	図書館や情報機器等を利用して、意欲的に情報収集に取り組んだ 生徒 70%	B	図書館を活用した調べ学習やICT機器を活用した資料作成、発表など教材を有効に活用し学びを充実させた。

(2)	<b>学校生活の意義を理解させるとともに、集団における役割を果たすことを通して、社会性や自己肯定感の向上を図る。</b>	学校生活に真面目に取り組んでいる生徒が 90%以上	学校生活に真面目に取り組んでいる 生徒 94%	A	生徒の実態に合わせ個別に配慮し、継続的な指導をしていく。
		「人との関わりが増えた」と思う生徒が 90%以上	人との関わりが増えた 生徒 91%	A	個人では体験できない他者と協力して取り組む活動を多く取り入れていく。
		自分に対して自信を持っている生徒が 85%以上	自分に対して自信が持てるようになった 生徒 81%	A	様々な体験活動で成功、失敗経験を通じて自己有用感を高めていく。
(3)	<b>社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育を推進する。</b>	目標を持って学校生活に取り組んでいる生徒が 90%以上	目標を持って学校生活に取り組んでいる 生徒 87%	A	個々の視野を広げ進路実現できるように、授業や探究学習を充実させる。
		ポートフォリオの作成が、自分を振り返る機会になっている生徒が 85%以上	目標設定シートや振り返りシートは、自分を振り返るきっかけになっている 生徒 91%	A	目標設定や振り返りシートの工夫・改善に取り組み、次の学びにつながるよう効果的に活用していく。
		将来の在り方や生き方について具体的に考えることができた生徒が 80%以上	将来のことを具体的に考えている 生徒 87%	A	外部機関との連携を図り、社会とのつながりを意識した指導、キャリア教育の充実を図っていく。
(4)	生徒指導の充実を図り、生徒との信頼関係を築くことで、安心・安全な学習環境を整える。	悩みを相談できる人がいる生徒が 100%	悩みを相談できる人がいる 生徒 89% 信頼できる先生がいる 生徒 89%	B	安心した学校生活を送れるよう積極的に声掛けを行った。相談しやすい雰囲気や相談体制の充実、スクールカウンセラーと連携の強化を図る。
		学校生活を通して、人間関係の築き方を学ぶことができた生徒が 90%以上	学校生活を通して、人間関係の築き方を学ぶことができた 生徒 91%	A	話し合い活動や学年の枠を超えた活動等多く取り入れ、他者と関わる場面を多く作る。
		「学校は病気やケガ等の防止対策、発生時の対応が適切で安全だ」と思う生徒・保護者が 90%以上	学校は病気・ケガ等の予防、発生時の対応が適切で安全だ 生徒 100%、 保護者 93% 安心して学校に通っている 保護者 89%	A	個々で体調管理を徹底させ怪我の予防に努めた。生徒の危機管理能力の向上に向けて、災害や事故に対する安全教育と安全を確保する環境を整えていく。

		問題行動による生徒指導件数が0件	生徒指導件数 1件1人	B	生徒の様子を職員全体で共有し、問題行動の早期発見、未然防止に努める。
(5)	地域人材を講師とする講演会や公開授業等を通じて、地域・保護者の定時制教育への理解を図る。	地域人材を講師とする教育活動を年20回以上実施。	地域人材を講師とする教育活動を年25回実施	A	地域人材を活用することで、充実したキャリア教育が実施できた。進路実現に向けた、取組内容のさらなる充実を図っていく。
		「学校は子どもの能力を向上させるよう指導している」と感じる保護者が90%以上	子どもの能力を向上させるよう指導している 保護者 89% 心身ともに成長している 保護者 96%	A	授業や特別活動等において、話し合い活動の場の充実を図った。社会的自立に向けて必要となる力が身に付くよう、生徒が主体的に取り組める工夫をする。
		「北高定時制に入学させてよかった」と思う保護者が90%以上 学校を信頼している 保護者が95%以上	学校の教育方針や取組に満足している 保護者 96% 教師への信頼感が感じられる 保護者 80% 気軽に連絡や相談ができる 保護者 84%	B	学校での様子が分かるよう活動状況を定期的に配信した。保護者が学校行事を参観できる機会を作った。 生徒の学校生活での頑張りを、積極的に保護者に伝えることで、生徒・保護者との信頼関係の構築に努めていく。
(6)	業務の精選と効率化を進める。	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した職員が85%以上	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した 職員 71%	B	職員間の情報共有から業務の効率化を図った。いろいろな意見を集約し、柔軟に対応できる環境づくりに努める。
		自身の役割を理解し、協力して取り組むことができた職員が85%以上	役割を理解し、協力して取り組んだ 職員 100%	A	すぐできることは情報共有しスピード感を持って対応した。引き続き、助け合える職場の雰囲気づくりを進めていく。
		ワークライフバランスの実現に取り組んでいる職員が85%以上	ワークライフバランスの実現に取り組んだ 職員 86%	A	職員間で声を掛け合い、休暇取得促進に取り組んでいく。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

【全日制】

＜スクール・ポリシー具現化の柱＞

- ア 基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成
- イ 確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実
- ウ 高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実
- エ 規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞しい人材」を育成するための教育活動の提供
- オ 家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進
- カ 安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実
- キ コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気で清々しい挨拶にあふれる学校の構築</li> <li>・清潔で端正な服装の徹底</li> <li>・清掃の徹底による生活環境の整備</li> <li>・ノーチャイム制による時間の自己管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから気持ちの良い挨拶ができていると答える生徒 90%以上※</li> <li>・清潔で端正な服装をするよう心がけていると答える生徒 95%以上※</li> <li>・日々の清掃に真剣に取り組むなど、生活環境の整備に努めていると答える生徒 95%以上※</li> <li>・授業の開始や集合時間等、時間を守ることができていると答える生徒 95%以上※</li> </ul>	生徒指導 教務 保健指導 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康に対する意識の高揚</li> <li>・心身の健康状態の確実な把握と適切な対応</li> <li>・悩みを抱える生徒の早期発見と相談体制の充実(スクールカウンセラー等の積極的な活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行 年10回</li> <li>・相談室だよりの発行 年3回</li> <li>・個人面談の実施 年3回以上</li> <li>・頼れる教員がいる生徒 90%以上※</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動、ホーム・ルーム活動、部活動等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※</li> <li>・学校行事に意欲的に取り組んでいると答える生徒 95%以上※</li> </ul>	生徒指導 教務 保健指導 情報指導 各学年

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進と読書習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館日より「Book Cover」の発行 年6回</li> <li>・読書感想文コンクール参加率(1、2年生) 100%</li> </ul>	
イ	<p>確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の理解の質を高めることによる確かな学力の育成</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実践(ICT機器(1人1台端末)、新聞、図書等の有効活用)</li> <li>・適切な質と量を備えた課題の提供等による家庭学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力が向上する授業が行われていると答える生徒 90%以上※</li> <li>・勉学に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※</li> <li>・課題、小テストの量は適切であると答える生徒 85%以上</li> <li>・家庭学習時間の平均 平日 150分以上</li> </ul>	<p>進路指導 教務 情報指導 研修 各教科</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善のための校内研修(授業参観、研究授業、授業アンケートの実施等)の充実</li> <li>・教育課程の充実と観点別学習状況の評価の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業見学週間の実施 年2回</li> <li>・教育課程検討委員会の開催 年2回以上</li> </ul>	
ウ	<p>高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期指導の充実</li> <li>・進路指導の充実(先輩講話、大学出張講義、模擬試験、実力テスト等の適切な実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に対する夢や目標を持っていると答える生徒 85%以上※</li> <li>・志や進路目標の実現に向けて自主的に取り組む姿勢を育てていると答える生徒 90%以上※</li> </ul>	<p>進路指導 教務 研修 各学年 各教科</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路目標に応じた指導の工夫と実践(大学入試問題研究や入試結果分析などを含む。)</li> <li>・課外補講等における講習の質の向上と参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導に関する研修会の開催 年4回以上</li> <li>・進路指導が適切に行われていると答える生徒 90%以上※</li> </ul>	
エ	<p>規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事はこれから求められることとなる力を育てるものとなっていると答える生徒 95%以上※</li> </ul>	<p>総務 生徒指導 教務 保健指導 各学年 各教科</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学びや協働的な学び、国際的な学びの深化を促進する機会の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学の甲子園」「模擬裁判」「スピーチコンテスト」等の大会などに参加する生徒 延べ 100人以上</li> </ul>	

	しい人材」を育成するための教育活動の提供	【国際科】 ・異文化理解の促進及び英語運用能力の育成(校外学修等の適切な実施)	・校外学修及びオクトーバープロジェクトの満足度 90%以上	国際科 各学年
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進	・家庭との連携強化	・P T A総会の保護者参加率 60%以上	総務 教務 生徒指導 情報指導
		・P T Aだよりや学校HP等による広報活動の充実	・家庭への連絡や情報提供が適切に行われていると答える保護者 85%以上※	
		・中学生の一日体験入学や公開授業の効果的な実施	・一日体験入学の参加中学生 700人以上	
		・地域の行事や奉仕活動、社会貢献活動等への積極的な参加促進	・地域の行事や奉仕活動、社会貢献活動等に参加するなどして、地域社会に貢献しようとしていると答える生徒 60%以上※	管理職
カ	安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実	・人権意識の啓発といじめ・体罰・セクハラ根絶	・いじめや体罰等に関する指導案件なし	生徒指導 保健指導 総務
		・交通安全意識の啓発と交通事故・事犯の撲滅	・街頭指導等の実施 年2回 ・交通事故件数 前年比減	
		・防災訓練や防災講話による防災意識の高揚	・防災訓練の実施 年2回 ・健康や安全等に関する指導が適切に行われていると答える保護者 90%以上※	保健指導 事務
		・教職員の安全管理意識の高揚  ・校内施設・設備、備品・消耗品等の整備・点検	・A E D講習会や熱中症予防講座の実施 ・教育環境の整備が適切に行われていると答える保護者 80%以上※	
キ	コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進	・コンプライアンス研修の適切な実施 ・適正な事務処理	・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし	管理職 事務 全職員
		・業務の精選と効率化 ・休暇取得の促進	・時間外在校等時間の前年比減 ・夏季休暇取得率 100%	

※は「学校生活によるアンケート」による。

【定時制】

＜スクール・ポリシー具現化の柱＞

- ア 授業改善に取り組み、基礎学力の確実な定着と探究活動の充実を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- イ 集団活動や体験活動等を通して自己肯定感を高め、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、社会人として必要な知識や教養を身に付けさせる。
- ウ 望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるとともに、課題に直面したときに主体的な判断の下に行動できる力を養い、将来設計に基づいた自己決定ができる能力の育成を図る。
- エ 教員間で生徒情報を共有・共通理解を図り、指導・相談体制を充実させることで、生徒との信頼関係を築き、安全で安心して活動できる学習環境を整える。
- オ 地域と連携し、保護者の信頼に応えることができる学校づくりをする。
- カ 計画的かつ組織的に業務を遂行し、定時退勤、休暇取得を推進する。

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
(1)	<b>基礎学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力の育成を図るため、継続して授業改善に取り組むとともに、探究活動の充実を図る。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づいて、興味関心を引き出す教材開発、授業研究を行う。</li> <li>・声かけ、机間指導により、授業に臨む姿勢を身に付けさせる。</li> <li>・評価や振り返りを通して、計画的に粘り強く学習に取り組む態度を育成する。</li> <li>・課題解決的な活動が発展的に繰り返されていくよう図書館や情報機器等を活用した学習活動の指導の在り方について研究を進める。</li> </ul>	「授業を通して基礎学力が身に付いた」と思う生徒が 95%以上
			「先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている」と感じる生徒が 95%以上
			計画的に粘り強く学習に取り組んだ生徒が 90%以上
			自ら課題意識を持って取り組んだ生徒が 60%以上
(2)	<b>学校生活の意義を理解させるとともに、集団における役割を果たすことを通して、社会性や自己肯定感の向上を図る。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属集団において、個に応じた役割を与え、多様な他者と協働することの重要性などを実感させながら理解させる。</li> <li>・成功体験や自己の役割を果たすことで、自己肯定感の向上を図る。</li> </ul>	学校生活に真面目に取り組んでいる生徒が 90%以上
			「人との関わりが増えた」と思う生徒が 90%以上
			自分に対して自信を持っている生徒が 90%以上

(3)	社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を持って活動に取り組ませ、それを振り返ることで、在り方生き方を考えさせる。</li> <li>・学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、キャリア発達を促す教育の充実を図る。</li> <li>・総合的な探究の時間を中心に、キャリア教育及び進路指導体制を整える。</li> </ul>	目標を持って学校生活に取り組んでいる生徒が90%以上
			ポートフォリオの作成が、自分を振り返る機会になっている生徒が85%以上
			将来の在り方や生き方について具体的に考えることができた生徒が80%以上
(4)	<b>生徒指導の充実を図り、生徒との信頼関係を築くことで、安心・安全な学習環境を整える。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の情報を的確に共有し、生徒理解を深め、適切な対応により生徒との信頼関係を築き、生徒が安心・安全に学ぶことができる環境を整える。</li> <li>・望ましい集団生活を通して、良好な人間関係を築く力を養い、心身の健全な成長を図る。</li> </ul>	悩みを相談できる先生がいる生徒が100%
			学校生活を通して人間関係の築き方を学ぶことができた生徒が90%以上
			「学校は病気やケガ等の防止対策、発生時の対応が適切で安全だ」と思う生徒・保護者が90%以上
			問題行動による生徒指導件数が0件
(5)	地域人材を講師とする講演会や公開授業等を通じて、地域・保護者の定時制教育への理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域、大学、専門学校等との連携及び協働により、教育活動の充実を図る。</li> <li>・保護者の期待に応えられる教育を推進する。</li> <li>・保護者面談、連絡等を密に行い、定時制教育への理解を得る。</li> </ul>	地域人材を講師とする教育活動を年20回以上実施
			「学校は子どもの能力を向上させるよう指導している」と感じる保護者が90%以上
			「北高定時制に入学させてよかった」と思う保護者が90%以上
			学校を信頼している保護者が95%以上
(6)	業務の精選と効率化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の視覚化を図り、業務を見直し精選する。</li> <li>・ICTの活用等、業務の効率化を進める。</li> <li>・定時退庁日を設定する。</li> <li>・長期休業中に休暇取得推進日を設定する。</li> </ul>	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した職員が85%以上
			自身の役割を理解し、協力して取り組むことができた職員が85%以上
			ワークライフバランスの実現に取り組んでいる職員が85%以上

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

##### 【全日制】

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月8日から11日の4日間にわたり、国際科のオクトーバープロジェクトを開催（10/8 静岡大にて留学生との交流、文芸大にて異文化体験、10/9 広沢小にて英語授業、10/10 JICA 中部国際センターにて国際理解、10/11 伊勢神宮にて日本文化理解）</li> <li>・創立130周年記念講義として、齋藤孝氏（明治大学教授）の講演会を実施</li> <li>・1、2年生を対象とした進路指導の講座を複数回開催（8/6 医学科小論文セミナー、9/6 及び10/25 先輩による課外授業、10/16 大学出張講義）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4日間の体験をとおして英語によるコミュニケーション、異文化理解、国際理解、日本文化理解などについて理解を深めると同時に視野を広げるよい機会となった。また、広沢小と本校の交流は双方にとってよいキャリア教育の機会であった。</li> <li>・生徒たちは勿論、教職員も講演に引き込まれ、学びの姿勢を見直す良い機会となった。他校の教職員8名も聴講した。</li> <li>・医学科小論文セミナーは、早期に医学科受験の志を固めるためにも非常に有効な講座であった。</li> </ul>
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月14日から17日の4日間にわたり、国際科2年生のオクトーバープロジェクトを開催（10/14 静岡大にて留学生との交流、文芸大にて異文化体験、10/15 JICA 中部国際センターにて国際理解、10/16 伊勢神宮にて日本文化理解、10/17 広沢小にて英語授業）</li> <li>・全校への特別講義として、11/7 に山極寿一氏（元京都大学総長）の講演会を行う。</li> <li>・1、2年生を対象とした進路指導の講座を複数回開催（8月東大生セミナー、医学科小論文セミナー、9/12 及び10/24 先輩による課外授業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4日間の体験をとおして英語によるコミュニケーション、異文化理解、国際理解、日本文化理解などについて理解を深めると同時に視野を広げるよい機会となると期待できる。</li> <li>・生徒たちは勿論、教職員にとっても自身の視野を広げ、人としての在り方を見直す良い機会となることが期待できる。</li> <li>・先輩による課外授業は、各界で活躍する先輩方からお話を伺う。自らの生き方やあり方について考える重要な機会と期待できる。</li> </ul>

【定時制】

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師によるコミュニケーションスキル講座を年7回実施</li> <li>・地元企業、大学、専門学校と連携しワークショップや学校見学等を年20回実施</li> <li>・外部機関や大学と連携し、異文化理解を学ぶ特別活動の授業を実施</li> <li>・球技大会や遠足、百人一首大会等、全学年合同で行う学校行事を7回実施</li> <li>・1、2年生の英語、国語では習熟度別クラス編成で授業を実施。</li> <li>・生徒への授業アンケートを年2回実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解や他者を尊重する心を育成するとともに、協働作業を通して人間関係づくりについて学ばせている。</li> <li>・地域、大学、専門学校等との連携や協働により教育活動の充実を図り、進路選択を意識させたキャリア発達を促している。</li> <li>・全学年合同で行う行事を増やすことで、縦のつながりが活発になり、コミュニケーション力の向上につながった。</li> <li>・生徒個々の学習状況によって、能力に合ったきめ細かな指導を行っている。</li> <li>・生徒の学習への取組状況を把握することで、教員が教材を工夫し、授業改善につなげている。</li> </ul>
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師によるコミュニケーションスキル講座を年7回実施</li> <li>・地元企業、大学、専門学校と連携しワークショップや学校見学等を年20回実施</li> <li>・外部機関や大学と連携し、異文化理解を学ぶ特別活動の授業を実施</li> <li>・球技大会や遠足、百人一首大会等、全学年合同で行う学校行事を7回実施</li> <li>・1、2年生の英語、国語では習熟度別クラス編成で授業を実施</li> <li>・生徒への授業アンケートを年2回実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働作業を通して自己理解や他者理解を促進し、お互いを尊重する心を育成することが期待できる。</li> <li>・地域、大学、専門学校等との連携や協働により教育活動の充実を図り、進路選択を意識させたキャリア発達が期待できる。</li> <li>・全学年合同で行う行事を増やすことで、縦のつながりが活発になり、コミュニケーション力の向上が期待される。</li> <li>・生徒個々の学習状況によって、能力に合ったきめ細かな指導を行う。</li> <li>・生徒の学習への取組状況を把握することで、教員が教材を工夫し、授業改善につなげる。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 令和6年度末異動状況

区分	本務職員														臨時・会計年度任用職員等					合計			
	教育職員							行政職員							本務計	養護教諭(臨)	非常勤講師	臨時事務職員	非常勤労務職員		非常勤嘱託員	小計	
	校長	副校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主任	主事	主任技能員									小計
全 日 制	転出者				6			6		1	1		1		3	9						0	9
	退職者	1			3			4							0	4		1				1	5
	再任用(退職)				3			3							0	3						0	3
	転入者	1			7			8		1	1		1		3	11						0	11
	新任者				1			1							0	1		4				4	5
	再任用(新任)				3			3							0	3						0	3
差引増減	0	0	0	△1	0	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	△1	0	0	3	0	0	0	3	2
定 時 制	転出者				1			1					1		1	2						0	2
	退職者							0							0	0		2				2	2
	再任用(退職)							0							0	0						0	0
	転入者							0					1		1	1						0	1
	新任者				1			1							0	1		2				2	3
	再任用(新任)							0							0	0						0	0
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 現員数

(令和7年8月31日現在)

区分	本務職員														臨時・会計年度任用職員等					合計				
	教育職員							行政職員							本務計	養護教諭(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員		外国語指導講師	校医等	小計	
	校長	副校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主任	主事	小計										
全 日 制	男	1	1		44			46		1		2		3	49		4	3			5	12	61	
	女			1	18	1	2	1	23	1		1		1	3	26		6		1	1	1	9	35
	計	1	1	1	62	1	2	1	69	1	1	1	2	1	6	75	0	10	3	1	1	6	21	96
定 時 制	男			1	5			6					1	1	7		3					3	10	
	女				2		1	3						0	3	1	4					5	8	
	計			1	7		1	9					1	1	10	1	7					8	18	
合計	1	1	2	69	1	3	1	78	1	1	1	2	2	7	85	1	17	3	1	1	6	29	114	

※全日制再任用教諭(養護教諭)：週19時間25分 4人 ・ 週38時間45分 5人 非常勤嘱託員 令和7年6月23日～8月31日任用

※定時制再任用教諭：週38時間45分 1人

(3) 健康管理について

- ア 教職員の健康管理については、日常から十分に留意し、定期健康診断のほか生活習慣病検診・人間ドック受診等には積極的に参加させている。また、健康管理医の指導のもと、疾病の早期発見と早期治療に当たらせるなど健康の保持及び増進に努めている。
- イ 保健室を窓口「健康管理医による個別健康相談」に応じている。
- ウ 教育厚生課から派遣される管理栄養士の指導を、積極的に受けるよう指導している(対象者)。
- エ ワークライフバランスの実現のため、仕事の効率化等を推進している。
- オ 職員安全衛生委員会を月1回実施し、職場環境の改善を推進している。

(4) 教職員の研修について

【全日制】

	令和6年度	令和7年度
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教職員の資質の向上</li> <li>イ 発達障害等により支援を要する生徒への対応力の向上</li> <li>ウ 危機管理・コンプライアンス意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教職員の資質の向上</li> <li>イ 発達障害等により支援を要する生徒への対応力の向上</li> <li>ウ 危機管理・コンプライアンス意識の向上</li> </ul>
研修内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育センター主催の研修をはじめとする校外で開催される様々な研修会（オンライン研修を含む。）に関する情報を提供し、参加を勧めている。</li> <li>・進路指導部が中心となり、4月には旧3年部職員がR5年度の進路指導について報告する会を、6月には進路指導部長が本校の進路指導や進路資料の活用等について説明する会を持った。今後も模試分析会等の進路指導に関する研修会を予定している。</li> <li>・11月7日に総合教育センター指導主事による定期訪問が予定されている。通常の研修以外に、静岡大学教育学部の教授を招き、「高等学校における特別支援教育」をテーマとした研修会を計画している。</li> <li>・職員会議等の中で、コンプライアンス通信を利用し、コンプライアンス意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育センター主催の研修をはじめとする校外で開催される様々な研修会（オンライン研修を含む。）に関する情報を提供し、参加を勧めている。</li> <li>・進路指導部が中心となり、4月には旧3年部職員がR6年度の進路指導について報告する会を、6月には進路指導部長が本校の進路指導や進路資料の活用等について説明する会を持った。今後も模試分析会等の進路指導に関する研修会を予定している。</li> <li>・11月14日に総合教育センター指導主事による定期訪問が予定されている。通常の研修以外に、浜松医科大学医学部附属病院の和久田智靖氏を招き、「発達障害の特性に応じた支援について」という演題で研修会を計画している。</li> <li>・職員会議等の中で、コンプライアンス通信を利用し、コンプライアンス意識の向上を図る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多忙な中において研修機会や十分な研修時間を確保することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多忙な中において研修機会や十分な研修時間を確保することが難しい。</li> </ul>

【定時制】

	令和6年度	令和7年度
目的	<p>ア 効果的な ICT 活用による授業改善について、本校の実情、生徒の実態に応じたより望ましい授業形態について研究する。</p> <p>イ 特別活動における、生徒の活動を効果的に評価する方法について、職員間で理解を深める。また、観点別学習状況の評価について、研修や授業見学を通して、授業改善と生徒の学習改善に向けて指導力の向上を図る。</p> <p>ウ コンプライアンス意識の向上</p>	<p>ア 効果的な ICT 活用による授業改善について、本校の実情、生徒の実態に応じたより望ましい授業形態について研究する。</p> <p>イ 特別活動における、生徒の活動を効果的に評価する方法について、職員間で理解を深める。また、観点別学習状況の評価について、研修や授業見学を通して、授業改善と生徒の学習改善に向けて指導力の向上を図る。</p> <p>ウ コンプライアンス意識の向上</p>
研修内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事訪問の校内研修時において、効果的な ICT 活用による授業改善について理解を深め、自校の実態に合わせた授業方法について協議を重ねた。</li> <li>年2回（6月、11月）の授業参観週間において、他教科の授業を参観し感想を共有することで、授業力向上のための教材研究につながった。</li> <li>授業アンケートを通し、授業改善への意識向上を図り、生徒の学習改善につながる指導を実践できた。</li> <li>コンプライアンス通信等を利用して、定期的に不祥事根絶のための研修を実施できた。</li> <li>職員室での情報共有等、何でも相談し合える職場環境づくりが確保でき、職員間の信頼関係も構築できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事訪問の校内研修時において、効果的な ICT 活用による授業改善について理解を深め、自校の実態に合わせた授業方法について協議を重ねる。</li> <li>年2回（6月、11月）の授業参観週間において、他教科の授業を参観し感想を共有することで、授業力向上のための教材研究につながっている。</li> <li>年2回の授業アンケートを通し、授業改善への意識の向上を図るとともに、生徒の学習改善につながる指導を実践する。</li> <li>コンプライアンス通信等を利用して、不祥事根絶のための研修を実施している。</li> <li>職員室での情報共有等、何でも相談し合える職場環境づくりに努め、職員間の信頼関係を高めている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修会等に1日参加する場合、各教科1人と職員数が少なく授業時間割の変更が困難である。変形労働時間で対応すると長時間勤務になってしまう。</li> <li>教職員の在任期間が比較的短く、異動も頻繁にあるため、研修成果が継続的に職員間で共有されにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修会等に1日参加する場合、各教科1人と職員数が少なく授業時間割の変更が困難である。変形労働時間で対応すると長時間勤務になってしまう。</li> <li>教職員の在任期間が比較的短く、異動も頻繁にあるため、研修成果が継続的に職員間で共有されにくい。</li> </ul>

## 6 防災対策について

### 【全日制】

	令和6年度	令和7年度
指導目標	防災意識の向上と防災対応能力の育成	
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回防災訓練（4月）地区会の実施 集団下校班の編成、リーダーの選出、集団下校時の危険箇所等を確認し、防災意識の向上を図ることができた。</li> <li>・第2回防災訓練（9月）防災教育の実施 無料オンライン教材「ヤフー防災模試」を活用し、2人組で意見交換をすること等を通して、「生きる力」を涵養し、能動的に防災に取り組む態度の育成を図った。</li> <li>・第3回防災訓練（10月）地震避難訓練の実施 遠州灘沖を震源とした震度5強の地震が発生した想定で避難訓練を実施し、避難ルートや危険箇所の再確認をすることで、防災対応能力の育成を図る予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回防災訓練（4月）地区会の実施 集団下校班の編成、リーダーの選出、集団下校時の危険箇所等を確認し、防災意識の向上を図ることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に適切な判断と行動がとれるよう、訓練や防災教育の内容を工夫していくことが課題である。</li> </ul>	

### 【定時制】

	令和6年度	令和7年度
指導目標	防災意識及び防災対応能力の育成	
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月26日に教室にて動画視聴（地震火災、動画で学ぶ令和の防災）を行った後、停電を想定した避難訓練を実施した。避難経路、避難場所の確認をした。また、地区別や防災班に分かれて、点呼、業務内容の確認を行った。</li> <li>・第2回防災訓練は8月28日に予定していたが、台風関係による休校で実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月25日に教室にて動画視聴（地震による火災から命を守る、もし地震が発生したら）を行った後、南海トラフ地震により、校内で火災が発生したと想定し避難訓練を実施した。避難経路、避難場所の確認をした。また、地区別や防災班に分かれて、点呼、業務内容の確認を行った。</li> <li>・第2回防災訓練は8月28日に実施、自衛隊静岡地方協力本部浜松出張所より講師を招き、防災講話、ロープワーク、搬送法、応急処置の実技指導を行った。</li> </ul>

## 7 学校開放について

該当なし

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第53条、 第55条、第56条、第57条、第59条、第60条、第61条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援事業費（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 高等学校定時制課程及び通信制課程修学補助金交付要綱 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第3条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

□□□□

# 学 校 施 設 の 概 要

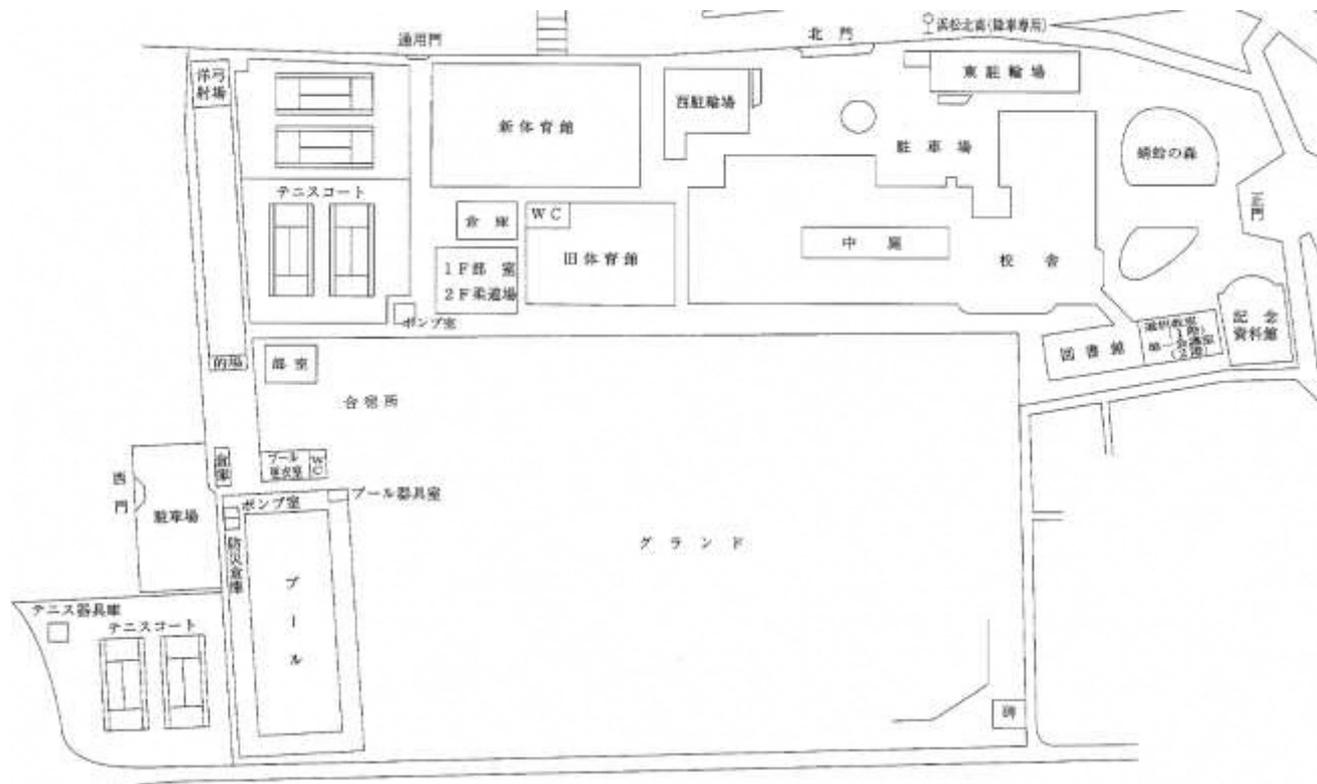
## 1 面積及び所有区分

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学校敷地	38,772.41	38,729.44		42.97			
内 訳	校舎敷地	14,183.00	14,183.00				
	運動場敷地	24,589.41	24,546.44	42.97			
校 舎	建 <u>3,877.06</u>	<u>3,877.06</u>					
	延 10,448.03	10,448.03					
体 育 館	建 <u>2,700.77</u>	<u>2,700.77</u>					
	延 3,201.91	3,201.91					
武 道 場	建 <u>349.39</u>	<u>349.39</u>					2階のみ 柔道場
	延 583.55	583.55					
その他の建物	建 <u>1,600.51</u>	<u>1,579.81</u>			<u>20.7</u>		
	延 2,649.61	2,628.91			20.7		
プ ー ル	950	950					50m×19m 8コース

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	38,772.41㎡	10,448.03㎡	24,589.41㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

□□□□

## 在 籍 生 徒 調

(全日制)

(令和7年8月31日現在)

学年	学科別		普通科				国際科				(合計)			
	区分		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者		320	179	144	323	40	12	28	40	360	191	172	363
	R7	増加												
		減少												
現在			179	144	323		12	28	40		191	172	363	
2年	入学者		320	186	138	324	40	13	27	40	360	199	165	364
	R6	増加												
		減少		2	2	4						2	2	4
	2年時当初			184	136	320		13	27	40		197	163	360
	R7	増加												
		減少						1		1		1		1
現在			184	136	320		12	27	39		196	163	359	
3年	入学者		320	164	162	326	40	15	25	40	360	179	187	366
	R5	増加												
		減少		2	1	3		1	1	2		3	2	5
	2年時当初			162	161	323		14	24	38		176	185	361
	R6	増加		(1)		(1)						(1)		(1)
		減少		2		2						2		2
	3年時当初			161	161	322		14	24	38		175	185	360
	R7	増加			1	1							1	1
減少				1	1							1	1	
現在			161	161	322		14	24	38		175	185	360	
合計				524	441	965		38	79	117		562	520	1,082

在 籍 生 徒 調  
(定時制) (令和7年8月31日現在)

学年	学科別		普 通 科			
	区分		定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		40	13	13	26
	R7	増 加				
		減 少		2		2
現 在			11	13	24	
2年	入 学 者		40	12	13	25
	R6	増 加				
		減 少		1	1	2
	2年時当初			11	12	23
	R7	増 加				
減 少						
現 在			11	12	23	
3年	入 学 者		40	5	7	12
	R5	増 加				
		減 少				
	2年時当初			5	7	12
	R6	増 加				
		減 少				
	3年時当初			5	7	12
	R7	増 加				
減 少						
現 在			5	7	12	
4年	入 学 者		40	7	11	18
	R4	増 加				
		減 少			2	2
	2年時当初			7	9	16
	R5	増 加				
		減 少				
	3年時当初			7	9	16
	R6	増 加		(1)		(1)
		減 少		1		1
		3修制		2	1	3
	4年時当初			5	8	13
R7	増 加					
	減 少					
現 在			5	8	13	
合 計				32	40	72

□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

(全日制)

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学 科 別		普通	国際								
生徒定員(A)		320	40	320	40	320	40	320	40	320	40
募集者数(B)		320	40	320	40	320	40	320	40	320	40
志願者数	男	273	14	202	12	232	19	232	22	223	16
	女	166	49	192	28	211	32	186	37	172	32
	計(C)	439	63	394	40	443	51	418	59	395	48
受検者数	男	272	13	202	12	230	19	232	22	223	16
	女	166	49	192	28	212	30	185	37	172	32
	計(D)	438	62	394	40	442	49	417	59	395	48
合格者数	男	200	6	156	12	164	15	186	13	179	12
	女	123	34	168	28	162	25	138	27	144	28
	計(E)	323	40	324	40	326	40	324	40	323	40
志願倍率(C)/(B)		1.37	1.58	1.23	1.00	1.38	1.28	1.31	1.48	1.23	1.20
受検倍率(D)/(B)		1.37	1.55	1.23	1.00	1.38	1.23	1.30	1.48	1.23	1.20
入学者数	男	200	6	156	12	164	15	186	13	179	12
	女	123	34	168	28	162	25	138	27	144	28
	計(F)	323	40	324	40	326	40	324	40	323	40
充足率(F)/(A)		1.01	1.00	1.01	1.00	1.02	1.00	1.01	1.00	1.01	1.00

□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

(定時制)

区	分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学科別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員(A)		40	40	40	40	40
募集者数(B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	9 (1)	9 (1)	8 (1)	16 (3)	16
	女	9 (2)	14	8 (1)	16 (2)	18 (2)
	計(C)	18 (3)	23 (1)	16 (2)	32 (5)	34 (2)
受検者数	男	9 (1)	9 (1)	8 (1)	16 (3)	16
	女	9 (2)	12	8 (1)	15 (2)	16 (2)
	計(D)	18 (3)	21 (1)	16 (2)	31 (5)	32 (2)
合格者数	男	7	7 (1)	5	12 (1)	14
	女	7	11	7	13	13 (2)
	計(E)	14	18 (1)	12	25 (1)	27 (2)
志願倍率(C)/(B)		0.38	0.55	0.35	0.68	0.80
受検倍率(D)/(B)		0.38	0.50	0.35	0.65	0.75
入学者数	男	7	7 (1)	5	12 (1)	13
	女	6	11	7	13	13 (2)
	計(F)	13	18 (1)	12	25 (1)	26 (2)
充足率(F)/(A)		0.33	0.45	0.30	0.63	0.65

□□□□

## 卒業生の動向調

(高等学校用)

### 1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			全日制国際科			全日制計			定時制普通科		
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数		356	317	320	41	38	40	397	355	360	18	12	13
(進学志願者)		(356)	(317)	(320)	(41)	(38)	(40)	(397)	(355)	(360)	(9)	(2)	(2)
内 学 者	進 学 者												
	大学・短大	227	210	179	29	19	29	256	229	208	4	2	2
	専修・各種学校等		4	1		5			9	1	4		2
	小 計	227	214	180	29	24	29	256	238	209	8	2	4
訳	就 職 者	1	1				1	1	1	1	7	8	7
	自 営 者												
	進学準備者	127	102	137	10	13	10	137	115	147	1	1	
	そ の 他	1		3	2	1		3	1	3	2	1	2
合 計		356	317	320	41	38	40	397	355	360	18	12	13

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	0	0	0
求 人 数	0	0	0
求 人 倍 率	-	-	-

3 資格取得状況

(令和6年度)

全日制	普通科	国際科	計
卒業生徒数	320	40	360
英語検定 1級	0	2	2
英語検定 準1級	18	4	22
英語検定 2級	55	10	65
合 計	73	16	89

定時制	普通科
卒業生徒数	13
	0
合 計	0

□□□□

# 生徒の状況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

(全日制)

### (1) 出身地

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町村名	浜松市	湖西市	磐田市	掛川市	袋井市	菊川市	御前崎市	その他	合計
生徒数	942	57	14	11	15	5	2	36	1,082
構成比%	87.0	5.3	1.3	1.0	1.4	0.5	0.2	3.3	100.0

### (2) 通学方法

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	電車	バス	自転車	JR東海	送迎・その他			合計
生徒数	67	142	144	555	149	25			1,082
構成比%	6.2	13.1	13.3	51.3	13.8	2.3			100.0

(定時制)

### (1) 出身地

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町村名	浜松市	磐田市	袋井市	その他	合計
生徒数	63	1	1	7	72
構成比%	87.5	1.4	1.4	9.7	100.0

### (2) 通学方法

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	電車	バス	自転車	JR東海	普通車	自動二輪	送迎・その他	合計
生徒数	9	6	25	30	1	0	1	0	72
構成比%	12.5	8.3	34.7	41.7	1.4	0.0	1.4	0.0	100.0

2 部(クラブ)の加入状況

(全日制)

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		17	13		30
男子	1年	118	73	0	191
	2年	108	84	4	196
	3年	94	69	12	175
	計(A)	320	226	16	562
	構成比	57.0	40.2	2.8	100%
女子	1年	75	97	0	172
	2年	51	106	6	163
	3年	52	109	24	185
	計(B)	178	312	30	520
	構成比	34.2	60.0	5.8	100%
合計	(A+B)	498	538	46	1,082
	構成比	46.0	49.7	4.3	100%

※蜻蛉クラブ全員加入

(定時制)

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		3	1		4
男子	1年	3	2	6	11
	2年	1	0	10	11
	3年	2	0	3	5
	4年	1	2	2	5
	計(A)	7	4	21	32
	構成比	21.9	12.5	65.6	100%
女子	1年	3	1	9	13
	2年	0	1	11	12
	3年	4	1	2	7
	4年	0	5	3	8
	計(B)	7	8	25	40
	構成比	17.5	20.0	62.5	100%
合計	(A+B)	14	12	46	72
	構成比	19.4	16.7	63.9	100%

※蜻蛉クラブ全員加入

授 業 料 収

期別	月別	調 定 の 状 況									
		1 年		2 年		3 年		4 年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
一期	4										
	5										
	6										
	7	195	5,791,500	196	5,821,200	162	4,811,400	0	0	553	16,424,100
	8										
	計	195	5,791,500	196	5,821,200	162	4,811,400	0	0	553	16,424,100
二期	8										
	9										
	10	212	10,494,000	208	10,256,400	192	9,474,300	0	0	612	30,224,700
	11			▲ 2	▲ 99,000	▲ 2	▲ 99,000			▲ 4	▲ 198,000
	12	2 ▲ 1	79,200 ▲ 9,900			▲ 1	▲ 49,500			2 ▲ 2	79,200 ▲ 59,400
	計	213	10,563,300	206	10,157,400	189	9,325,800	0	0	608	30,046,500
三期	12										
	1	210	8,316,000	205	8,118,000	190	7,464,600	0	0	605	23,898,600
	2	1 ▲ 1	9,900 ▲ 19,800			1	9,900			2 ▲ 1	19,800 ▲ 19,800
	3										
	計	210	8,306,100	205	8,118,000	191	7,474,500	0	0	606	23,898,600
合計		618	24,660,900	607	24,096,600	542	21,611,700	0	0	1,767	70,369,200

# 納 状 況 調

(令和 6 年度)

収 納 の 状 況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後 収納額	収 入 未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額 = 16,424,100 円 (期首人員 × 月単価 × 3月) 1年 195 人 × 9,900 円 × 3月 2年 196 人 × 9,900 円 × 3月 3年 162 人 × 9,900 円 × 3月
				B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円
16,335,000	99.5		89,100	C. 収納必要額 A(±)B = 16,424,100 円
		89,100		
16,335,000		89,100	0	
				A. 期首収納権利発生額 = 30,224,700 円 (期首人員 × 月単価 × 5月) 1年 212 人 × 9,900 円 × 5月 2年 1 人 × 9,900 円 × 1月 207 人 × 9,900 円 × 5月 3年 1 人 × 9,900 円 × 2月 191 人 × 9,900 円 × 5月
				B. 収納権利増減(▲)額 = ▲178,200 円 <内訳>就学支援金受給資格遡及認定不認定 1年 1 人 × 9,900 円 × 3月 = 29,700 1年 1 人 × 9,900 円 × 5月 = 49,500 2年 ▲2 人 × 9,900 円 × 5月 = ▲99,000 3年 ▲3 人 × 9,900 円 × 5月 = ▲148,500 <内訳>転退学等 1年 ▲1 人 × 9,900 円 × 1月 = ▲9,900 (10月31日転学)
30,026,700	99.3		198,000	C. 収納必要額 A(±)B = 30,046,500 円
▲198,000		198,000	0	
79,200 ▲59,400	100.0			
29,848,500		198,000	0	
				A. 期首収納権利発生額 = 23,918,400 円 (期首人員 × 月単価 × 4月) 1年 210 人 × 9,900 円 × 4月 1 人 × 9,900 円 × 1月 2年 205 人 × 9,900 円 × 4月 3年 188 人 × 9,900 円 × 4月 3 人 × 9,900 円 × 1月
23,859,000	99.8		39,600	B. 収納権利増減(▲)額 = ▲19,800 円 <内訳>転退学等 1年 ▲1 人 × 9,900 円 × 2月 = ▲19,800 (1月21日転学)
19,800 ▲19,800	100.0	39,600	0	C. 収納必要額 A(±)B = 23,898,600 円
23,859,000		39,600	0	
70,042,500	99.5	326,700	0	D. 収納必要額 70,369,200 円

授 業 料 収

期別	月別	調 定 の 状 況									
		1 年		2 年		3 年		4 年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
一期	4										
	5										
	6										
	7	0	0	1	8,100	1	8,100	0	0	2	16,200
	8										
	計	0	0	1	8,100	1	8,100	0	0	2	16,200
二期	7										
	8										
	9										
	10	1	13,500	1	13,500	1	13,500	2	27,000	5	67,500
	11	▲ 1	▲ 13,500					▲ 1	▲ 13,500	▲ 2	▲ 27,000
	計	0	0	1	13,500	1	13,500	1	13,500	3	40,500
三期	12										
	1	0	0	1	10,800	1	10,800	1	10,800	3	32,400
	2										
	3										
	計	0	0	1	10,800	1	10,800	1	10,800	3	32,400
合計		0	0	3	32,400	3	32,400	2	24,300	8	89,100

# 納 状 況 調

(令和 6 年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況			
納 期 内 収 納 額		納 期 後	収 入				
円	収 納 率 %	収 納 額 円	未 済 額 円				
				A. 期首収納権利発生額 = 16,200 円 ( 期首人員 × 月単価 × 3 月 ) 1年 0 人 × 2,700 円 × 3 月 2年 1 人 × 2,700 円 × 3 月 3年 1 人 × 2,700 円 × 3 月 4年 0 人 × 2,700 円 × 3 月			
				B. 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円			
16,200	100.0			C. 収納必要額 A (±) B = 16,200 円			
16,200		0	0				
				A. 期首収納権利発生額 = 67,500 円 ( 期首人員 × 月単価 × 5 月 ) 1年 1 人 × 2,700 円 × 5 月 2年 1 人 × 2,700 円 × 5 月 3年 1 人 × 2,700 円 × 5 月 4年 2 人 × 2,700 円 × 5 月			
				B. 収納権利増減 (▲) 額 = ▲ 27,000 円 <内訳> 就学支援金受給資格遡及認定不認定 1年 ▲ 1 人 × 2,700 円 × 5 月 = ▲ 13,500 4年 ▲ 1 人 × 2,700 円 × 5 月 = ▲ 13,500			
40,500	60.0		27,000	C. 収納必要額 A (±) B = 40,500 円			
		0	▲ 27,000				
40,500		0	0				
				A. 期首収納権利発生額 = 32,400 円 ( 期首人員 × 月単価 × 4 月 ) 1年 0 人 × 2,700 円 × 4 月 2年 1 人 × 2,700 円 × 4 月 3年 1 人 × 2,700 円 × 4 月 4年 1 人 × 2,700 円 × 4 月			
32,400	100.0			B. 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円			
				C. 収納必要額 A (±) B = 32,400 円			
32,400		0	0				
89,100	100.0	0	0	D. 収納必要額	89,100 円		



# 納 状 況 調

(令和 7 年度)  
(令和 7 年 8 月 31 日 現在)

収 納 の 状 況				異動者等の状況
納期内収納額	納期後 収納率	納期後 収納額	収 入 未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額 = 29,700 円 (期首人員 × 月単価 × 3 月) 1年 0 人 × 9,900 円 × 3 月 2年 1 人 × 9,900 円 × 3 月 3年 0 人 × 9,900 円 × 3 月
				B. 収納権利増減 (▲) 額 = ▲ 29,700 円 <内訳>転学 2年 ▲ 1 人 × 9,900 円 × 3 月 = ▲ 29,700 (6月30日転学)
29,700	100.0			C. 収納必要額 A (±) B = 0 円
▲ 29,700				
0		0	0	D. 収納必要額 0 円





□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年8月31日 現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	473	0

□□□□

## 預 金 調

(令和7年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 名残出張所	無利息型 普通預金	0037015	静岡県立浜松北高等学校 資金前渡者 校長 飯田 寛志	0	給与振込用
静岡銀行 名残出張所	無利息型 普通預金	0246409	(自振口) 静岡県立浜松北高等学校 資金前渡者 校長 飯田 寛志	0	公共料金 引落とし用
残高合計				0	

□□□□

## 郵 券 等 受 払 調

(令和7年8月31日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	1円券	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	通信 連絡用
	10円券	9	90	0	0	3	30	6	60	0	0	1	10	5	50	通信 連絡用
	20円券	2	40	0	0	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	通信 連絡用
	84円券	12	1,008	0	0	9	756	3	252	0	0	2	168	1	84	通信 連絡用
	85円券	0	0	2	170	0	0	2	170	0	0	2	170	0	0	通信 連絡用
	110円券	0	0	2	220	0	0	2	220	0	0	2	220	0	0	通信 連絡用
	120円券	2	240	0	0	2	240	0	0	0	0	0	0	0	0	通信 連絡用
計		1,380	390	1,066	704	0	570	134								

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12)委託費	一般	くらし・環境費	環境費	環境政策費		25,850	
	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,780,460	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,554,740	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		4,071,892	
計					7,853,098	7,432,942	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,432,000	
計					1,650,000	3,432,000	0
(16)公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		580,800	
計					0	580,800	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		60,672,296	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		32,495	
計					66,231,670	60,704,791	0
(21)補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、6年度からの繰越額分
(12)委託費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	563,200	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	231,990	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	1,344,464	
計					2,139,654	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	341,000	
計					341,000	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	14,748,800	
計					14,748,800	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 機械警備業務	総合警備保障(株)静岡支社	6,705,600	6,705,600	-	6,705,600	一般	1.10.1 ～ 6.9.30		円 (6,035,040)	機械警備業務 (対象8校の侵入・火災等)	01長期継続 浜松西 浜松南 浜松湖東 浜松湖南 浜松江之島 浜松商業 浜松特支
				670,560		670,560			6.5.31	111,760		
				1,341,120		1,341,120			6.6.28	111,760		
				1,341,120		1,341,120			6.7.31	111,760		
				1,341,120		1,341,120			6.8.30	111,760		
				1,341,120		1,341,120			6.9.30	111,760		
				670,560		670,560			6.10.31	111,760		
				(小計)		670,560						
2	機械警備業務	ALSOK(株)静岡支社	8,712,000	8,448,000	-	8,448,000	一般	6.10.1 ～ 11.9.30		140,800	機械警備業務 (対象8校の侵入・火災等)	06長期継続 浜松西 浜松南 浜松湖東 浜松湖南 浜松江之島 浜松商業 浜松特支
				844,800		844,800			6.11.29	140,800		
				1,689,600		1,689,600			6.12.26	140,800		
				1,689,600		1,689,600			7.1.31	140,800		
				1,689,600		1,689,600			7.2.28	140,800		
				1,689,600		1,689,600			7.3.31	140,800		
				1,689,600		1,689,600			7.3.31	140,800		
				844,800		844,800			7.4.30	140,800		
(小計)	844,800											
3	エレベーター保守点検業務	日本オーチス・エレベーター(株)静岡支店	999,863	999,240	-	999,240	随契	6.4.1 ～ 7.3.31		231,990	昇降機1台設備保守業務	随契2号(不適)
										231,990		
										303,270		
										231,990		
									(小計)	999,240		
4	給食調理(配膳)業務	(株)キッチンセンター掛川屋	18,832,110	12,100,110	-	12,100,110	一般	5.8.28 ～ 8.7.31		(2,688,862)	定時制給食調理	05長期継続
				2,688,862		2,688,862			6.5.31	336,116		
				4,033,392		4,033,392			6.6.28	336,116		
				4,033,392		4,033,392			6.7.31	336,116		
				1,344,464		1,344,464			6.8.30	336,116		
									6.9.30	336,116		
									6.10.31	336,116		
									6.11.29	336,116		
									6.12.26	336,116		
									7.1.31	336,116		
		7.2.28	336,116									
		7.3.31	336,116									
		7.4.30	336,116									
(小計)	4,033,392											
5	ガスヒートポンプエアコン保守点検業務	つばい工業(株)	596,200	517,000	-	517,000	随契	6.7.1 ～ 7.1.31		517,000	ガスヒートポンプエアコンの保守点検	随契1号(少額)
									(小計)	517,000		
6	グリストラップ産業廃棄物収集運搬及び処分業務	東名興産(株)	77,000	77,000	-	77,000	随契	6.7.22 ～ 7.3.31		38,500	グリストラップの清掃及び産業廃棄物処分	随契1号(少額)
										38,500		
									(小計)	77,000		
事務関係計		6件							7,141,992			
1	(工事関係) PCB濃度分析業務(高圧進相コンデンサ)	富士通クオリティ・ラボ・環境センター(株)	25,850	25,850	-	25,850	随契	6.9.13 ～ 6.11.15		25,850	高圧進相コンデンサ内にある絶縁油中のPCB濃度の分析	随契1号(少額)
									(小計)	25,850		
2	有害物質含有調査業務	ユーロフィン日本総研(株)	519,200	281,600	△ 16,500	265,100	随契	6.12.6 ～ 7.2.14		265,100	倉庫(旧部室棟)等の外壁におけるアスベスト及びPCBの含有調査	随契1号(少額)
									(小計)	265,100		
工事関係計		2件							290,950			
合計		8件							7,432,942			





□□□□

補 助 金

整理 番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額
1	高等学校定時制の過程及び通信制の課程 修学補助金	定時制生徒 1件	高等学校定時制の課程及び通信制の課程 修学補助金交付要綱	教科書購入費補助 1年 0人 2年 0人 3年 1人 4年 0人	円 9,086	円 9,086
2	高等学校定時制の課程及び通信制の課程 修学補助金	定時制生徒 2件	高等学校定時制の課程及び通信制の課程 修学補助金交付要綱	夜食費補助 1年 0人 2年 0人 3年 1人 4年 1人	円 32,495	円 32,495
計		3件			41,581	41,581

令和7年度 該当なし

# 支 出 調

(令和6年度)

補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
	年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
県 10/10	7. 3. 24	円 9,086	7. 4. 18	円 9,086	7. 3. 19	7. 3. 24	
県 10/10	7. 3. 24	円 32,495	7. 4. 18	円 32,495	7. 3. 19	7. 3. 24	
		41,581		41,581			

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国高等学校長協会	開催通知による	全国高等学校長協会第76回総会研究協議会参加費	円 4,000	6.5.2
2	会議参加費	全国高等学校教頭・副校長会	開催通知による	第63回全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議大会参加費	4,000	6.7.2
3	会議参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	2,000	6.7.8
4	会議参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	2,000	6.7.8
5	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 535名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	15,889,500	振替日 6.7.31
6	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 63名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	510,300	振替日 6.7.31
7	学び直し 支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 1名分)	高等学校等 修学支援事 業費補助金 (学び直し への支援) 交付要綱	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	8,100	振替日 6.7.31
8	会議参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知による	全国普通科高等学校長会 第74回総会・研究協議会参加費	6,000	6.8.15
9	会議参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会	開催通知による	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会総会・研究協議会参加費	2,000	6.9.30
10	受講料	林材業労災防止協会	開催通知による	チェーンソー業務特別教育受講料	21,010	6.10.30
11	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 477名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	23,591,700	振替日 6.10.31
12	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 60名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	810,000	振替日 6.10.31
13	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 2名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	27,000	振替日 6.11.15
14	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 4名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	198,000	振替日 6.11.15

15	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.12.20
16	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 1名)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	申請データ修正者の授業料 を戻入する	△29,700	振替日 7.1.10
17	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 1名)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	申請データ修正者の授業料 を戻入する	△49,500	振替日 7.1.10
18	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 480名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	18,958,500	振替日 7.1.31
19	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 60名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	645,300	振替日 7.1.31
20	学び直し 支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 1名分)	高等学校等 修学支援事 業費補助金 (学び直し への支援) 交付要綱	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	10,800	振替日 7.1.31
21	学び直し 支援金	定時制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 1名分)	高等学校等 修学支援事 業費補助金 (学び直し への支援) 交付要綱	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	2,700	振替日 6.2.10
計		21件			60,663,210	

## 負担金支出調

(令和7年度)  
(令和7年8月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国高等学校長協会	開催通知 による	全国高等学校長協会第77回 総会・研究協議会参加費	円 4,000	7.5.2
2	会議参加費	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会	開催通知 による	東海四県高等学校長生徒指 導連絡協議会参加費	4,000	7.6.26
3	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第I期分 1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	5,400	振替日 7.6.30
4	会議参加費	全国高等学校教頭・副校 長会	開催通知 による	第64回全国高等学校教頭・ 副校長会総会・研究協議会 参加費	4,000	7.7.2
5	会議参加費	東海四県高等学校長連絡 協議会	開催通知 による	東海四県高等学校長連絡協 議会総会・研究協議会参加 費	2,000	7.7.7
6	会議参加費	東海地区学校図書館研究 大会	開催通知 による	第42回東海地区学校図書館 研究大会参加費	3,000	7.7.16
7	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第I期分 475名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	14,107,500	振替日 7.7.31
8	高等学校等 就学支援金	定時制高等学校授業料 (第I期分 71名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	575,100	振替日 7.7.31
9	学び直し 支援金	定時制高等学校授業料 (第I期分 1名分)	高等学校等 修学支援事 業費補助金 (学び直し への支援) 交付要綱	定時制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	8,100	振替日 7.7.31
10	会議参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知 による	全国普通科高等学校長会第 75回総会・研究協議会参加 費	6,000	7.8.14
11	高校生等 臨時支援金	全日制高等学校授業料 (第I期分 1名分)	高等学校等 修学支援事 業費補助金 (高校生等 臨時支援 金) 交付要 綱	全日制高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 7.8.29
計		11件			14,748,800	

# 建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	浜松北高等学校キュービクル 高圧進相コンデンサ更新工事	浜松市中央区 広沢地内	506,000	484,000	
2	教育管理費	浜松北高等学校格技場外階段 (上段部分) 改修工事	浜松市中央区 広沢地内	1,639,000	1,628,000	
3	教育管理費	浜松北高等学校校舎避難器具 更新工事	浜松市中央区 広沢地内	781,000	770,000	
4	教育管理費	浜松北高等学校グラウンド散 水用減量水道メーター更新工 事	浜松市中央区 広沢地内	605,000	550,000	
		合 計	4 件	3,531,000	3,432,000	

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	令和6年度 [第36-Z1513-01 号] 浜松北高等学校本校舎ト イレ改修工事 (建築)	浜松市中央区 広沢地内	50,171,000	48,400,000	
参考 2	教育管理費	令和6年度 [第36-Z2411-01 号] 浜松北高等学校本校舎ト イレ改修工事 (機械設備)	浜松市中央区 広沢地内	50,138,000	49,500,000	660,000
		合 計	2 件	100,309,000	97,900,000	660,000

# 事 調

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
484,000	随契	(株)前島電気工業社	6.9.2 ～ 6.11.29	484,000	キュービクル 高圧進相コン デンサの更新	—	随契1号(少額) 令達年月日 6.8.6 支払年月日 6.11.22
1,628,000	随契	(株)鈴木組	6.12.2 ～ 7.1.31	1,628,000	格技場外階段 (上段部分) の改修	—	随契1号(少額) 令達年月日 6.10.17 支払年月日 7.2.21
770,000	随契	東海消防技研 (株)	6.12.11 ～ 7.3.14	770,000	校舎避難器具 の更新	—	随契1号(少額) 令達年月日 6.11.28 支払年月日 7.4.1
550,000	随契	日管(株)	6.12.27 ～ 7.2.28	550,000	グラウンド散 水用減量水道 メーターの更 新	—	随契1号(少額) 令達年月日 6.12.12 支払年月日 7.4.3
3,432,000				3,432,000			

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
48,400,000	一般	スヤマビルドサ ービス(株)	6.6.18 ～ 6.12.13	48,400,000	西側4・5階、 東側1～3階ト イレ改修工事 (乾式化・洋 式化)	—	交通機関部 建築工事課
50,160,000	一般	スヤマビルドサ ービス(株)	6.6.18 ～ 6.12.13	50,160,000	西側4・5階、 東側1～3階ト イレ改修工事 (乾式化・洋 式化)	—	交通基盤部 設備課
98,560,000				98,560,000			

# 建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	浜松北高等学校コンピュータ 室空調設備更新工事	浜松市中央区 広沢地内	4,290,000 <sup>円</sup>	4,070,000 <sup>円</sup>	<sup>円</sup>
		合 計	1 件	4,290,000	4,070,000	

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	令和7年度 [第37-Z1518-01 号] 浜松北高等学校本校舎ト イレ改修第2期工事 (建築)	浜松市中央区 広沢地内	54,483,000 <sup>円</sup>	46,640,000 <sup>円</sup>	<sup>円</sup>
参考 2	教育管理費	令和7年度 [第37-Z2422-01 号] 浜松北高等学校本校舎ト イレ改修第2期工事 (機械設 備)	浜松市中央区 広沢地内	58,410,000	57,750,000	
		合 計	2 件	112,893,000	104,390,000	

# 事 調

(令和7年度)  
(令和7年8月31日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
4,070,000	指名	日管(株)	7.7.18 ～ 7.10.17		コンピュータ室空調設備の更新	予	令達年月日 7.6.11
4,070,000							

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
46,640,000	指名	スヤマビルドサービス(株)	7.7.23 ～ 8.1.5		西側1～3階、東側4・5階トイレ改修工事(乾式化・洋式化)	—	財務部 建築工事課
57,750,000	一般	スヤマビルドサービス(株)	7.6.20 ～ 7.12.15		西側1～3階、東側4・5階トイレ改修工事(乾式化・洋式化)	—	財務部 設備課
104,390,000							

□□□□

## 公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	6年3月31日現在		増		減		7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 3,873,328		千円 5,642		千円 48,920		千円 3,830,050	
土 地	m <sup>2</sup> 38,729.44	3,211,335					m <sup>2</sup> 38,729.44	3,211,335	
立木竹	本 60	6,485					本 60	6,485	
建 物	m <sup>2</sup> 8,507.03 16,862.40	640,694				47,157	m <sup>2</sup> 8,507.03 16,862.40	593,537	
工 作 物	個 58	14,814	3	5,642		1,763	個 61	18,693	
公有財産に 準ずるもの		209						209	
電話加入権	件 6	209					件 6	209	

令和7年度中増減なし

## 借 地 借 家 等 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
1	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢 一丁目181-6	市有 畑	学校 敷地	m <sup>2</sup> 42.97	円 26,460	円 26,460	H23. 4. 1 ～ R13. 3.31	浜松市長	運動場敷地
2	土地	敷地	浜松市中央区広沢 一丁目15-39、15 -40、140-21	宅 地	職員 駐車場 敷地	m <sup>2</sup> 36.66	無償	無償	R6. 4. 1 ～ R11. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	地域住民用 災害仮設トイレ敷地
土 地 計						m <sup>2</sup> 79.63	26,460				
3	建物	雑 屋 建	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	鉄筋コンクリート 陸屋根		m <sup>2</sup> 20.70	無償	無償	R3. 4.1 ～ R8. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	揚水ポンプ室
建 物 計						m <sup>2</sup> 20.70					
4	工作物	雑 工 作 物	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	鉄筋コンクリート		個 1	無償	無償	R3. 4.1 ～ R8. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	サッカー シュート板
5	工作物	雑 工 作 物	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	鉄筋コンクリート		個 1	無償	無償	R3. 4.1 ～ R8. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	空調設備
6	工作物	雑 工 作 物	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	学校敷地		個 1	無償	無償	R3. 4.1 ～ R8. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	テニスコー ト人工芝
7	工作物	雑 工 作 物	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	学校敷地		個 1	無償	無償	R3. 4.1 ～ R8. 3.31	一般財団法人 浜松北高等学校 後援会理事長	グラウンド 助走路
8	工作物	雑 工 作 物	浜松市中央区広沢 一丁目30-1	鉄筋コンクリート		個 1	円 3,724,993	円 3,724,993	R6. 7.1 ～ R19. 6.30	NTT・TCリース 株 式 会 社 静 岡 支 店 長	空調設備
工 作 物 計						個 5	3,724,993				

□□□□

## 事務機器等の債務負担行為

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	5年度
長期継続契約	機械警備業務	対象8校の侵入・火災等 (契約日) 令和6年9月11日	8,448,000	-
	給食調理(配膳)業務	定時制給食調理 (契約日) 令和5年8月10日	12,100,110	2,688,862

又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
844,800	1,689,600	1,689,600	1,689,600	1,689,600	844,800
4,033,392	4,033,392	1,344,464	-	-	-

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	0.78 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~12.3.31	浜松市長	避難地標識設置
2	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	23.69 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	揚水ポンプ室設置
3	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	28.50 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	サッカーシュート板設置
4	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	16 本	1,500	24,000	5.4.1 ~10.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所長	電柱5本、支線柱2本 支柱1本、支線8条
5	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	7 本 0.17 m <sup>2</sup>	1,500	10,500 1,500	7.4.1 ~12.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱1本、支線6条 引上管2条(1.7m <sup>2</sup> 以下)
6	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建		11.16 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~10.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	厨房執務室設置
7	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	1.00 m <sup>2</sup>		1,910	7.4.1 ~10.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	パン自動販売機設置
8	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建		1.00 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~10.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	食券自動販売機設置
9	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建		57.20 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~10.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	厨房設置
10	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	1.44 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	石碑設置
11	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	60.72 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	浜松北高等学校 野球部OB会長	雨天ピッチング練習場設置
12	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	45.10 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	浜松北高等学校 同窓会長	慰霊碑設置
13	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	0.045 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~8.3.31	浜松市長	案内看板設置
14	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	鉄筋コンクリート 2階建		36.90 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~10.3.31	浜松北高等学校 同窓会長	同窓会事務局設置
15	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建		3.30 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	後援会事務局職員執務場所設置
16	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	鉄筋コンクリート 2階建		6.60 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	図書館教育補助員執務場所設置
17	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建		3.30 m <sup>2</sup>		免除	4.4.1 ~9.3.31	浜松北高等学校 PTA会長	進路教育補助員執務場所設置
18	建物	事務所建	浜松市中央区広沢1-30-1	SRC5階建 SRC2階建		11.13 m <sup>2</sup> 16.38 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	空調設備設置
19	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	3861.10 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	人工芝設置
20	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	651.86 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	(一財)浜松北高等学校 後援会理事長	グラウンド助走路設置
21	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	6.00 m <sup>2</sup>		2,190,000	5.4.1 ~8.3.31	サントリービバレッジソリューション(株) 代表取締役	自動販売機及びび容器回収ボックス設置
22	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	96.78 m <sup>2</sup>		免除	3.4.1 ~8.3.31	浜松北高等学校 野球部OB会長	雨天ピッチング練習場防球ネット設置
23	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	0.24 m <sup>2</sup>		免除	7.4.1 ~8.3.31	浜松市長	田畑政治ゆかりの地看板設置
24	土地	学校敷地	浜松市中央区広沢1-30-1	学校敷地	学校敷地	0.09 m <sup>2</sup>		免除	6.4.1 ~9.3.31	浜松中央警察署長	交通標識設置
合計								2,227,910			

# 主 要 備 品 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	03-03	プロジェクター	天吊プロジェクター一式	教室設置 週5日(年間180日)	H31. 3	円 4,188,240
2	02-01	パーソナルコンピューター (一式)	タブレット端末一式	情報用 週5日(年間150日)	H31. 3	3,708,180
3	01-99	その他の庁用器具	組立式仮設トイレ 一般用14基、車椅子用1機、手摺付3機	防災用 非常時	H17. 8	2,783,550
4	10-12	陸上競技用器具	棒高跳び用マット ニシF511	陸上競技用 週3日(年間90日)	H13.12	2,247,000
5	02-02	放送装置	放送装置 校内放送設備一式(調整卓)	放送室 週5回(年間150日)	R1. 8	1,586,520
6	08-02	ボート	ボート 舵手付クォドルプル重量艇	佐鳴湖漕艇場 週2日(年間60日)	H15. 3	1,554,000
7	10-12	トレーニング用器具	レッグカール、エクステンション セノーBA2113	保健体育用 週5日(年間150日)	H2. 2	1,091,800
8	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハC3	音楽用 週5日(年間150日)	H21.12	1,060,500
9	01-04	戸棚	トロフィー棚 木製2790×2980×535	各種大会カップ等収納用 毎日(年間365日)	H2. 2	987,255
10	02-02	放送装置	放送装置 ミキサー WR-X02 他	新体育館用 月2回(年間24日)	H14.12	979,650
11	10-12	トレーニング用器具	レッグプレスバックキックマシン セノーBA2013	保健体育用 週5日(年間150日)	H2. 2	952,750
12	10-12	トレーニング用器具	バタフライ、ローイングマシン セノーBA2413	保健体育用 週5日(年間150日)	H2. 2	942,450
13	02-01	電算組織用媒体	パソコン教育用ソフト 瞬間復元43本	コンピュータ室設置 週5日(年間150日)	H27. 3	794,340
14	01-04	移動書庫	移動書庫 重連移動 オカムラN954CZ	事務用 毎日(年間365日)	H1.11	638,600
15	06-04	変圧器整流器	大型電源装置 N40AF-1型	化学実験用 2学期(年間20日)	S57.2	630,000
16	06-04	変圧器整流器	大型電源装置 N40AF-1型	化学実験用 2学期(年間20日)	S57.2	630,000
17	06-04	変圧器整流器	大型電源装置 N40AF-1型	化学実験用 2学期(年間20日)	S57.2	630,000
18	02-02	その他の情報伝達機器	AV設備 液晶プロジェクター、スピーカー、マイク	コンピュータ室設置 週5日(年間150日)	H27. 3	611,280
19	01-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫 ホシザキHRF-18	厨房用 週5日(年間180日)	H19.10	585,900
20	01-13	加熱器具	立体炊飯器 服部工業 LG-70	厨房用 週5日(年間180日)	H16.2	549,150

職 員 調

(全日制)

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	飯田 寛志	総括	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	副校長	岡 克彦	総括補助	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	教 頭	岡本 多佳子	総括補助・英語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	事務長	佐藤 恭子	事務総括	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	教 諭	小柴 秀樹	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	教 諭	尾崎 伊左子	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	教 諭	松本 明和	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	教 諭	長嶋 久美	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
9	教 諭	早瀬 彰	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10	教 諭	加藤 直樹	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11	教 諭	加藤 安英	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
12	教 諭	渡邊 裕	音 楽	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
13	教 諭	諸井 伸司	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
14	教 諭	太田 知江	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
15	教 諭	鈴木 敬子	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
16	教 諭	伊藤 友美	美 術	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
17	教 諭	大村 勝久	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
18	教 諭	竹村 城太	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
19	教 諭	山本 肇	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
20	教 諭	中村 治代	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
21	教 諭	磯貝 千津子	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
22	教 諭	堀 典子	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
23	教 諭	吉田 健一	保健体育	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24	教 諭	阿部 郁	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
25	教 諭	安部 博之	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
26	教 諭	倉本 由紀子	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
27	教 諭	戸塚 俊幸	保健体育	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
28	教 諭	服部 貴大	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
29	教 諭	藤田 貴義	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
30	教 諭	山下 真典	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
31	教 諭	山口 安司	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
32	教 諭	春日 志高	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
33	教 諭	磯部 准子	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
34	教 諭	村松 芳郎	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
35	教 諭	永井 和歌子	書 道	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
36	教 諭	中谷 泰臣	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
37	教 諭	夏目 政臣	保健体育	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
38	教 諭	野田 康弘	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
39	教 諭	田開 洋史	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
40	教 諭	宮本 ゆみ子	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
41	教 諭	上堀 高佳	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
42	教 諭	上畠 万里	家 庭	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
43	教 諭	萩原 壮一	情 報	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
44	教 諭	佐藤 他加志	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
45	教 諭	澤根 有貴	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>



## (定時制)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教 頭	松野 立	総括補助・保体	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	教 諭	宮松 勇仁	地歴公民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	教 諭	伊藤 永一郎	数 学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	教 諭	大石 恵	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	教 諭	齋藤 幸治	保健体育	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	教 諭	倉田 智彬	理 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	教 諭	久島 大和	商 業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	教 諭	青山 菜々	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
9	養護教諭	藤野 優菜	養 護	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	主 事	伊藤 智博	庶務・会計	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定時制職員・平均勤務年数					3年2月	
全日制・定時制合計 平均勤務年数					3年8月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	養護教諭(臨)	上村 たるほ	養 護	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	非常勤講師	久保田 恵美	国 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	非常勤講師	中道 彩友	音 楽	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	非常勤講師	新村 文祥	美 術	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	非常勤講師	小杉 英仁	書 道	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	非常勤講師	澤田 奈緒	英 語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	非常勤講師	平野 恵世	家 庭	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	非常勤講師	山本 晃丈	情 報	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

□□□□

## 職員の年齢調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員			摘 要
	全日制	定時制	計	
20歳未満	0人	0人	0人	
20歳以上 30歳未満	7	3	10	
30歳以上 40歳未満	15	0	15	
40歳以上 50歳未満	12	4	16	
50歳以上 56歳未満	16	1	17	
56歳以上 61歳未満	16	1	17	
61歳以上	9	1	10	再任用 10人
計	75	10	85	
平均年齢	48.7歳	43.1歳	47.11歳	

□□□□

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 86人 職員数 86人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 人
B 2		要経過観察 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていよいよが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 1(1)人
C 2		要経過観察 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 25(25)人
D 2		要経過観察 22(22)人
D 3		医 療 不 要 35(35)人
区 分 者 計		83(83)人
未区分者数		3(3)人
合 計		86(86)人

(1) 管理区分A～C2該当者

に対する措置状況

□□□□

(2) 未区分の理由

ア □□□ 人

イ □□□ 2人

ウ □□□ 人

エ □□□ 1人

(□□□)